

熊本大学海外派遣留学生 報告書

(協定校サマースクール／語学セミナー)

氏名	A さん		
所属	法 学部・大学院 法律 学科・専攻		
留学先機関名	リーズ大学 (国名： 英国)		
参加プログラム 区分	☐ 協定校サマープログラム ☒ 語学セミナー ☐ その他：		
留学期間	2020 年 2 月 10 日－ 2020 年 3 月 13 日 (2 月 9 日出発、3 月 15 日熊本到着)	留学開始 時学年	2 年次
奨学金 (奨学金を受給 した場合)	☐ 奨学金受給無し ☒ JASSO 海外留学支援制度 ☐ 国際奨学事業 (熊本大学) ☐ トビタテ！留学 JAPAN 【第 期】 ☐ その他 ()		



1. 出発前の準備について

ビザの申請	☐ 有 ☒ 無 種類()	ビザ申請先	☐ 国内 ☐ 現地 場所()
留学に向けて 取り組んだ語学	☒ 英語 ☐ 独語 ☐ 仏語 ☐ 中国語 ☐ 韓国語 ☐ その他 () 語)		
勉強方法	期末試験直後が留学だったので勉強してませんでした。Netflix で 洋画をよく見てました。		
必要経費 (留学に必要な 支払い費用) ※概算費用 (おおよ その費用)	☒ プログラム費用 ￡2291 (当時のレートで 32 万程度) ☐ 宿泊費用 (寮/ホームステイ等) 上記に含まれる ☐ ビザ申請 円 ☐ 渡航費 (□片道 ☒ 往復) 2 4 万円 ☐ 海外旅行保険料 2 万円 ☐ 食費 7 万円?? ☐ その他 (お土産、観光, etc) 1 0 万円		

2. 渡航～到着後の生活について

利用航空会社	KLM-ROYAL DUTCH JAPAN-AIRLINES	手配	JTB ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	福岡→東京→アムステルダム→リーズ(予定) 実際はニューカッスルからリーズにタクシー移動しました。	到着時刻	予定日二日後の深夜 【※移動時間 (約 時間)】
大学 (寮) への 移動手段	☐ 大学手配の出迎え ☐ 知人の出迎え ☒ タクシー ☐ 公共交通機関 (□バス □電車) □その他 ()		
空港から移動する 際の注意点 行き方、料金等	Stormによりアムステルダムで足止めを二日食らいました。ホテル等は KLM の負担でしたが、イギリスに着いてからの移動とホテルは自費でした。保険適用か KLM の負担か交渉中です。万が一に備えて着替えは一日分手荷物に入れておいた方が安心です。		
宿泊先	☒ 寮 ☒ ホームステイ その他 ()	宿泊 手配	☒ 大学の斡旋 ☐ 自分で その他 ()
部屋の種類	☒ 一人部屋 ☐ 二人部屋 その他 ()	ルームメイト	☒ 日本人学生 ☒ 他国からの学生 その他 ()

その他生活に必要な手続き、アドバイス (口座開設、保険、携帯電話、荷物、支払い方法など)	・携帯電話→Amazon でイギリスの SIM カードを買う (WI-FI より断然安い)、モバイルバッテリーはあった方がいいです。イギリスの交通機関の定期はアプリ上で完結します。 ・クレジットカードは円滑な旅をするには絶対必要です。電車の予約、レストランの予約、ホテルの予約等全てネット上で完結するのでカードがないと面倒くさいです。 ・下着以外の洋服は現地調達が楽です。PRIMARK とかで靴もパジャマも買えます。汚い下着、タオル、服を持って行って現地で捨てて帰ってくると荷物が減ってお土産が入ると思います。 ・洗面用品もイギリスの方が豊富だし安いです。シャンプー、リンスもボディケア用品も日本にないものが多くて選ぶのが楽しいです。敏感肌じゃなかったら、Boots とかで基礎化粧品買うのもありかもしれません。デパコスも日本より安く買えます。Dr Martin も日本より安いです。 ・Uber がとても便利でした。タクシーよりも断然安いです。 ・雨がめっちゃ降ります。嫌という程、降ります。風も強いです。骨組みがしっかりした折りたたみ傘と防水加工のコートが必須です。しかも熊本より数倍寒いです。
---	---

3. 留学先の大学について

プログラムの概要について (授業・フィールドワーク内容、スケジュール等)	2 週間ごとに Unit が決まっています。授業内容が変わります。その Unit 最後の金曜日までに Progress Task という宿題を提出しなければなりません。大体、ペアワークの宿題だと Vlog を撮ったり、プレゼンをしたりしました。後は個人で 800words くらいの文章を書いて提出します。Laptop がないと不便だと思います。正直、日本人ばかりでした。活発なクラスじゃないなとか自分に合わないとかレベルが低いと思ったらクラス替えを申し出るのも有りだと思います。 選択授業でリンククラスというものがあります。これの申し込みは先着順なのでその時間になった瞬間に登録しないと残り物に申し込むこととなります。これを知らず多くの熊大勢は不本意なクラスを取ることとなりました。あとキャンパスが広すぎて早めに行かないと遅刻します。 Refectory という学食か Parkinson の前の通りのアジア系お店にランチに行くといいと思います。Home という中華料理と Seoul kitchen という韓国料理は美味しかったです。 水曜日と金曜日が午後に授業がないので近くに観光しにいけます。
---	--

留学先大学でのサポート体制について (語学面／学校生活／住居・日常生活等)	私自身、語学面で困ったことはありませんでしたが、留学直前にステイ先からコロナが原因で断られましたので、計 3 回ステイ先が変わりました。急に受け入れてくださった新しいステイ先 2 軒には感謝しています。 最初の 1 週間は世界遺産の街 Saltire にあるお家に滞在していました。ここには私の他に 3 人の生徒さんがいました。みんなでワイワイして楽しかったです。 その次は Charles Morris Hall という寮に滞在していました。大学内にあって築浅だったの快適でした。Refectory のバウチャーで食費を賄っていました。 最後に 3 週間滞在したのが Chapel Town にあるお家でした。ここは私だけしか生徒がいなかったですが、Host brother がいたので一緒に映画を観たり、地理の勉強をしたり、お菓子食べたりして楽しかったです。Host parents もたくさんしゃべりかけてくれたり今の情勢について話せたりと大変勉強になりました。休日には公園を歩いたり、中華料理を食べに行ったり、ギャラリーを見に行ったりしました。毎日落ち着いて過ごせました。
留学開始後に行った留学先大学の手続き (学生証、履修登録、大学 ID の設定等)	大学の初日に student office に行って学生証を発行してもらえます。写真もその時に撮られるので綺麗にしていっての方がいいです。履修登録とかは全て Minerva 上で行えます。連絡も Minerva のメールに入るので毎日チェックが必要です。大体、行く前にそのサイトに登録させられます。
休日や余暇の過ごし方 (観光、現地学生との交流等) ※どうやって探したか、きっかけなども具体的に	リーズは交通の中心なので午後休や土日を使って様々なところに行けます。リバプール、マンチェスター、ヨーク、ロンドン、ストークオントレント等に行きました。また、リーズのダウントOWNもショッピングし放題です。日本未上陸のコスメ、ランジェリー、アパレルブランドがトリニティには入ってます。お姫様気分を味わえるようなソープ屋さんもトリニティの近くにあります。M&S という老舗スーパーはお土産にもいいですし、洋服の質がいいです。そして惣菜も美味しいです。 各地の詳細を挙げると、 リバプールは海沿いの街で、ビートルズで有名です。中心地のショッピング街も充実してました。 マンチェスターはサッカーを観に行く人が多かったです。サッカーの試合自体も始まるのが夜の 8 時とかで日本のナイターよりも遅いです。さらにマンチェスターは治安が悪いので夜は注意です。 ヨークはヴァイキングに占領されていた時の首都です。城壁、寺院、街並みなどの建築物に感動しました。ヨークには由緒あるアフタヌーンティーのお店 Betty' s afternoon tearoom があります。

ネット予約をすると特別なお部屋でピアノの生演奏を聴きながら楽しむことができます。

ロンドンは4日くらい滞在しないと十分に観光できません。私はWarner Bros The making of Harry Potterに行きました。完全予約制なので現地の旅行会社を通して手配しました。ハリポタファンならば絶対感動すると思います。世界一高級といわれる百貨店ハロッズはお土産が充実しています。その他にもバッキンガム宮殿やタワーブリッジ等、観光の名所が沢山あります。ロンドンにしかないお店やお土産があるので計画的に観光したほうがいいと思いました。ロンドンはホテルが劣悪なところが多いので多少高くても安心できる場所を予約したほうがいいですよ。Airbnbは注意した方がいいです。

ストークオントレントは陶器の街と言われ、英国王室御用達のWedgwoodの博物館と工房、アウトレットがあります。Wedgwoodの食器を使ったアフタヌーンティーも楽しめます。興味が有られる方にはおすすめです。アウトレットで買った食器は日本まで配送してもらえます。

情報は旅行雑誌、現地に長くいる日本人、ホストファミリーから得れると思います。学校内のイベントはLUUという学生団体が提供しているのでそのサイトを見れば、参加できます。現地学生との交流をする機会はなかなかないです。積極的にJapanese societyというサークルやイベントに参加しない限りできないと思います。また各種サークルの活動は夜遅いので女子生徒に参加は難しいと思います。リーズも夜になると結構危ない感じがあるので一人行動は控えた方がいいです。マリファナ吸ってる人とか普通にいます。ホームレスも結構います。

4. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

日本の大学での授業とは異なり、私たちが自ら自分の意見を述べなければ授業が深まりません。間違っているとしても自信なくもとりあえず答えることが大事です。日本人は大概、他の国の人より writing や文法、発音はできるのに話せないと感じました。あと今までの学校ではアメリカンイングリッシュで習ってきたので、ブリティッシュイングリッシュのアクセントやイントネーションが最初の方は聞き取れなかったです。でもしばらくするとわかるようになりリスニング力の向上が感じられました。話すときにアクセントやイントネーションに注意して言ってみると通じやすかったです。

私たちが行った時期はコロナのことでアジア人差別がありました。確かに差別的なことを言動に表してくる人もいましたが、多くの良識のある方々は優しく敬意をもって接してくださいました。日本に対して興味を持ってくれている人も多かったです。リーズに来て客観的に日本の良さや悪さ、イギリスの短所長所を身をもって感じれたことが大きいです。

同じプログラムへ参加を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関する事など自由に記載してください）

ヴィクトリア時代のイギリスの歴史について前もって学習しておくといいと思います。英語は直前に勉強しなくてもどうにかかります。文法書を一冊持っていくと意外と使えます。電子辞書はあったら便利ですがスマートフォンで代替可能です。ラップトップはもっていった方がいいと思います。具体的な学びについては人それぞれだと思いますが、全体的に英語を話すことに対しての抵抗や恥ずかしさはなくなりました。

生活面としては、沢山歩くのでロングスカート、ワイドパンツはちょっと邪魔になって履かなくなりました。靴は雨でびしょびしょになります。現地でも買えますが履き慣れた防水ブーツとかあると確実に使えます。イギリスは傘の値段が品質の割に高いです。日本から高性能な強いものを持っていきましょう。

友達はクラスメイトとか同じステイ先とかで仲良くなります。他国、他県にも友達が増えて遊びに行けるようになります。楽しいですよ。

留学を通しての感想

行きから飛行機がキャンセルになったり、直接差別的な言動を受けたり、滅多にできない体験をすることが出来ました。またヨーロッパにおいて、アジア人はマイノリティーであることを感じました。これは日本にはなかなか感じられないことだったのでとてもいい経験になったと思います。英語という言語面だけではなく、生活、文化、慣習、全てにおいて一人の人間として成長できた 5 週間であったと感じています。そして、様々な人と関わりを持ったことでこれから人生においてもいい影響を与え合えるような友達もできました。いろんな観光名所にも行けたので本当に人生の思い出になったと思います。

この経験を活かしてこれからのステップも努力したいと思いました。

熊本大学海外派遣留学生 報告書

(協定校サマースクール／語学セミナー)

氏名	B さん		
所属	社会文化科学教育 部・大学院 教授システム学 学科・専攻		
留学先機関名	リーズ大学 (国名： 英国)		
参加プログラム 区分	☐ 協定校サマープログラム ☒ 語学セミナー ☐ その他：		
留学期間	2020 年 2 月 10 日－ 2020 年 3 月 13 日 (2 月 9 日出発、3 月 15 日熊本到着)	留学開始 時学年	2 年次
奨学金 (奨学金を受給 した場合)	☐ 奨学金受給無し ☒ JASSO 海外留学支援制度 ☐ 国際奨学事業 (熊本大学) ☐ トビタテ！留学 JAPAN 【第 期】 ☐ その他 ()		



1. 出発前の準備について

ビザの申請	☐ 有 ☒ 無 種類()	ビザ申請先	☐ 国内 ☐ 現地 場所()
留学に向けて 取り組んだ語学	☒ 英語 ☐ 独語 ☐ 仏語 ☐ 中国語 ☐ 韓国語 ☐ その他 () 語)		
勉強方法	e ラーニング		
必要経費 (留学に必要な 支払い費用) ※概算費用 (おおよ その費用)	☒ プログラム費用 約 19 万 6 千円 ☒ 宿泊費用 (寮/ホームステイ等) 約 12 万 3 千円 ☐ ビザ申請 0 円 ☒ 渡航費 (□片道 ☒ 往復) 約 24 万円 ☒ 海外旅行保険料 約 2 万円 ☒ 食費 約 3 万円 ☐ その他 (交通費 (電車の定期代)) 1 万 4 千円		

2. 渡航～到着後の生活について

利用航空会社	KLM	手配	JTB ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	成田—アムステルダム—リ ーズ	到着 時刻	深夜 2 時 【※移動 約 2 日間 台風遅延有】
大学 (寮) への 移動手段	☐ 大学手配の出迎え ☐ 知人の出迎え ☐ タクシー ☐ 公共交通機関 (□バス □電車) ☒ その他 (ホストの送迎)		
空港から移動する 際の注意点 行き方、料金等	本来はリーズ大学からの空港ピックアップだったが、嵐の影響で オランダに 1 泊した。用意できた飛行機が 2 日目の夜 22 時で、ニ ューキャッスル行きでした。そこから陸路でタクシーに乗り、リ ズ到着は深夜 2 時でした。タクシー代 4 万円 (4 人乗車)		
宿泊先	☐ 寮 ☒ ホームステイ その他 ()	宿泊 手配	☐ 大学の斡旋 ☐ 自分で その他 ()
部屋の種類	☒ 一人部屋 ☐ 二人部屋 その他 ()	ル ー ム メ イ ト	☒ 日本人学生 ☐ 他国からの学生 その他 ()
その他生活に必要な 手続き、アドバイス (口座開設、保険、 携帯電話、荷物、 支払い方法など)	ホームステイ先によるが、電車やバスの交通機関を利用する場 合、アプリでチケットが購入できる。但し、日本にいる間に SIM ロックを解除は必須です。SIM ロックが解除されていないと、カ ード決済ができません。電車やバスの場合は、定期を購入すると かなり節約になる。4 週間だったが、毎日チケットを買うより定 期にすることで 1 万円も節約できた。		

3. 留学先の大学について

プログラムの概要について（授業・フィールドワーク内容、スケジュール等）	General English (GE) と 選択クラス (LINC) の 2 週類がある。選択クラスは、オリエンテーションの後に、オンライン上で申請する。人気のコースは、受付オープンになったら直ぐにいっぱいになるので、希望が通らないこともある。30 秒以内に申請しないと第一希望はまず取れない。私は、ビジネスのクラスをとりました。ドラゴンデンという日本のマネーの虎、BBC バージョンの人気 TV シリーズを YouTube で見ながら、起業家について学ぶコースで、起業家やビジネスについて楽しく学びました。 GE のクラスの教材は、すべて Minerva という LMS からダウンロードでき、事前の予習も可能です。スマホでもいけるが、ときどき、パソコンを持参するライティングの課題があるので、パソコンを持参するのが良い。 GE も LINC も素晴らしい教師で、楽しく学ぶことができた。フィールドワークでは、街にでてインタビューをしたり、プレゼンテーションをペアで作成して発表したり、毎回チャレンジできる内容でした。とくに、SNS や Vlog (YouTube 上にアップする動画のブログ) などを使った学習は楽しかった。
留学先大学でのサポート体制について（語学面／学校生活／住居・日常生活等）	語学センターでは、親切なスタッフがいつも対応してくれた。それとは別に、教師のストライキによって行われない授業も多くあった。ストライキが始まった当初は、クラスに、マネジャーが来て、「影響はない」だろうと言っていたが、ストライキが長引いて影響がでてきた時にはなんの説明もなかった。先生が来ないなら、来ている先生のクラスに入れて欲しいと頼んだ方がいたが、それだとストライキの意味がなくなるので、入れることができないという説明をされていた。 翌週のスケジュールが、日曜日にウェブに反映されたりと、ギリギリのスケジュールの進め方だった。滞在期間は決まっているのだから、4 週間すべてのスケジュールを初日に共有して欲しかった。
留学開始後に行った留学先大学の手続き（学生証、履修登録、大学 ID の設定等）	特に困ったことはなかった。

休日や余暇の過ごし方 (観光、現地学生との交流等) ※どうやって探したか、きっかけなども具体的に	休日は、Leeds の街を歩いたり、ロンドンやケンブリッジにも観光で行った。特に良かったのはロンドンです。大英博物館やハリーポッターのミュージアムに行くことができました。「Get your guide」というアプリから、Victoria 駅発のツアーを申し込めば、人気の入場券も手に入りやすくなります。都心から片道バスで 50 分くらいなので、ツアーで申し込むのがベストだと思います。 Leeds の街には、いくつか映画館があります。Trinity という大型ショッピングモールは 13 ポンドかかるが、学生証を見せるとピザが無料でついてくる。座席はソファタイプで、家でくつろいでいるような感覚で映画を鑑賞できます。Light というデパートは、6 ポンドで鑑賞ができるなど、場所によって価格がことになりました。Trinity の kitchen(フードコート)では、ほとんどの店で学割があるので、学生証を持参するとお得です。但し、割引があっても基本的には外食は高くつくので、飲み物はタンブラーに水を入れて持参すると良いと思います。 街中にある Hotel Chocolate というカフェがお気に入りでした。週 1-2 回くらいのペースで通いました。VIPME というカードを作成すると 10%引きでチョコの購入はもちろん、ホットチョコが飲めます。また、チョコレート販売も行っていて、眺めているとチョコレートを無料で試食させてくれました。店員さんは、とてもフレンドリーで、チョコの説明をしてくれます。 リーズの図書館でも過ごしたりもしていました。入口付近は、伝統ある感じの作りですが、奥に入ればモダンな椅子やテーブルがあるスペースで、一人の時間をゆっくり過ごすことができました。
---	--

4. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

英語の学習というよりは、何かを達成するために英語を使うというスタイルであったので、今後も応用ができると思った。例えば、「Vlog」用のインタビューや、英語でのプレゼンテーションなどその日の課題によって異なります。Vlog の課題は、英語のレビューをグループで行った成果物を、YouTube にアップするというものです。グループメンバーと、英語で自然な会話を続けながら、映画の感想を言い合ったりするのは、なかなか難しかったが楽しく学ぶことができました。

イギリスの歴史をベースにしたクリエイティブ・ライティングの課題も面白かった。ビクトリア時代について調べたり、当時の日記を題材にして、日記の書き方を学んだりしました。正直、歴史に興味がないので、最初はあまり面白くはないと思っていました。しかし、学習が進むにつれて、当時の人の暮らしを創造できるようになってきたら、とても楽しく感じるようになりました。担当の先生のリードもよく、クイズなどのアクティビティがあったり、クラス全体で楽しむことができました。

LINC のクラスでは、Dragon Den という番組の Dragon たちを調べて発表するという課題がありました。Dragon Den は、日本の「マネーの虎」という番組を BBC が版權を買ってイギリス版を作ったものです。Dragon と呼ばれる起業家に、名もない資金もない挑戦者が、自分のビジネスを拡大するために、Dragon 達に商品のプレゼンをして、資金獲得を目指すという番組です。日本初の番組が、このように海外でも人気の番組になっていることを知って驚きました。ビジネスクラスには、サウジアラビア人が多く、日本でのビジネスにも興味があるようで、たくさん質問を受けました。海外の人たちから見た日本のイメージを、きくのはとてもユニークな体験になりました。また、企業で働いてから大学に戻って学習している方も多くいました。各国の仕事のスタイルについての情報を交換ができ楽しかったです。サウジアラビアは、8時間労働が主流のようで、残業は基本的にしないそうです。中国は、業種にもよりますが、デザインなどの業種は、徹夜しても終わらせるのが普通だそうです。他国の方の働き方など、授業の前のスモール・トークは、いつも盛り上がりました。

同じプログラムへ参加を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関することなど自由に記載してください）

このプログラムは、日本人が比較的多いプログラムなので、なかなか海外の人の交流が難しいと思いますが、自ら進んで話しかけたり、ユニオンなどのソーシャルイベントを利用するなど、努力が必要だと思います。大学のイベントを通じて、なるべく多くのコミュニティに参加することをお勧めします。私はホームステイ先の家が遠かったのですが、夕方から始まる Union のクラブ活動には参加できませんでしたが、ホームステイ先が近い方は、参加すると良いと思います。クラブ活動は、スポーツやハイキングなどのアクティビティなどバラエティに富んでいました。参加費用も 1-2 ポンドでできます。学内にあるスポーツジムは、学割があっても安くはないので、毎日通わないならクラブ活動をお勧めします。

留学を通しての感想

5週間のイギリス留学で、ライティングのスキルが上がったように思います。これまで、ライティングが一番苦手でした。授業のタスクでスピーキングと必ずセットで、ライティングがあったお陰です。はじめて、ライティングの課題を採点してもらいました。どのような点に注意すべきなのか、また頻繁に間違っているもの、そうでないものに気づくことができたので、学習プランを立てやすくなりました。教室では、グループワークで、ライティングの採点をレビューしたり、Rubricを使った採点も経験することができました。生活面では、クラスメイト、ルームメイトとも長い時間一緒に過ごして、お話したり遊びに行ったりと、とても充実していました。また、ホストファミリーとも、よく夕食時間に会話をしたりしました。特に、アイススケートショーのTV番組や、ドラマを一緒に見ながら、犯人を推理したりするのも楽しかったです。食事とてもバラエティに富んでいて、美味しくいただくことができました。学習面でも生活面でも、とても充実した留学となりました。

熊本大学海外派遣留学生 報告書

(協定校サマースクール／語学セミナー)

氏名	C さん		
所属	_____ 文 _____ 学部・大学院 _____ 文 _____ 学科・専攻		
留学先機関名	リーズ大学 (国名： 英国)		
参加プログラム 区分	☐ 協定校サマープログラム ☒ 語学セミナー ☐ その他：		
留学期間	2020 年 2 月 10 日ー 2020 年 3 月 13 日 (2 月 9 日出発、3 月 15 日熊本到着)	留学開始 時学年	____ 2 年次
奨学金 (奨学金を受給 した場合)	☐ 奨学金受給無し ☒ JASSO 海外留学支援制度 ☐ 国際奨学事業 (熊本大学) ☐ トビタテ！留学 JAPAN 【第 _____ 期】 ☐ その他 (_____)		



写真貼付

(枚数制限なし)

1. 出発前の準備について

ビザの申請	☐ 有 ☒ 無 種類()	ビザ申請先	☐ 国内 ☐ 現地 場所()
留学に向けて 取り組んだ語学	☒ 英語 ☐ 独語 ☐ 仏語 ☐ 中国語 ☐ 韓国語 ☐ その他 (語)		
勉強方法	授業、たまに英単語のアプリ		
必要経費 (留学に必要な 支払い費用) ※概算費用(おおよ その費用)	☒ プログラム費用 約 19 万円 ☒ 宿泊費用(寮／ホームステイ等) 約 11 万円 ☐ ビザ申請 円 ☐ 渡航費(☐ 片道 ☒ 往復 約 3 万円 ☒ 海外旅行保険料 約 25 万円 ☒ 食費 約 3 万円 ☒ その他(通学にかかる交通費) 約 7 千円		

2. 渡航～到着後の生活について

利用航空会社	KLM	手配	JCB ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	福岡→成田→アムステルダム→(stormのためニューキヤッスル→) リーズ	到着時刻	午前 1 時(予定では 16:45) 【※移動時間(約 15 時間)】
大学(寮)への 移動手段	☐ 大学手配の出迎え ☐ 知人の出迎え ☐ タクシー ☐ 公共交通機関(☐ バス ☐ 電車) ☐ その他()		
空港から移動する 際の注意点 行き方、料金等			
宿泊先	☐ 寮 ☒ ホームステイ その他()	宿泊 手配	☒ 大学の斡旋 ☐ 自分で その他()
部屋の種類	☒ 一人部屋 ☐ 二人部屋 その他()	ルーム メイト	☒ 日本人学生 ☐ 他国からの学生 その他()
その他生活に必要な 手続き、アドバイス (口座開設、保険、 携帯電話、荷物、 支払い方法など)	SIM カードなしでも生活は可能。しかし SIM カード利用者を頼ることも多々あった。(友達同士での連絡、道順探し) リーズは Wi-Fi 環境が整っているが他の地域を旅行したいなら SIM カードがないとかなり大変。また、運送による破損も考えられるのであらかじめキャリーケースの写真を撮っておくといいいと思われる。実際に破損した友達がいた。		

3. 留学先の大学について

プログラムの概要について（授業・フィールドワーク内容、スケジュール等）	15 人くらいの少人数クラスでの授業でした。留学前の placement tests によってクラス分けがされます。クラスによってはほぼ日本人です。 内容は基本的に 2 週間ごとに変わります。“film and TV”、“then and now” などがありました。大学近くの街に 4 人ほどのグループで行って写真を撮りその場の様子を表現するという活動もありました。 またほぼ毎日簡単な課題が出されます。2 週間に一回は動画を撮ったりプレゼンをするというスピーキングと 300～1000 語程度のライティングの課題が出ます。 また、LinC という授業は最初に授業選択をしますが先着順なので気を付けたほうがいいです。1 分かつらずに埋まる授業があります。
留学先大学でのサポート体制について（語学面／学校生活／住居・日常生活等）	Language center の事務に行けばいろいろと聞くことができました。授業の担当の先生は尋ねたら親切に答えてくれた。授業の前後に質問に行きやすかった。
留学開始後に行った留学先大学の手続き（学生証、履修登録、大学 ID の設定等）	各自で学生証を作りに行った。私は同じ大学の人とともに行動した。その場で学生証の写真を撮るので少しメイクなどしていくのがいいと思われる。LinC の授業はガイダンス後に分野選択がある。
休日や余暇の過ごし方（観光、現地学生との交流等） ※どうやって探したか、きっかけなども具体的に	休日は自宅でのんびり過ごすことも多かったが、せっかくイギリスまで来たからということで、ネット等で観光地を調べ友達と回った。ホストファミリーが近くの観光地に連れて行ってくれることもあった。天候がいい日が少ないので外に出るのが億劫になることもあったが、出かけてみてよかったと思う。また、近くの街で遊ぶことも多かった。通学で街を通る人が多く、歩いていける距離だったため散策しやすかった。放課後にあるグローバルカフェに参加してそこで観光地など情報を得ることもできた。5 週間はあっという間だったので早いうちからいろんなことに挑戦するべきだ。

4. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

語学力は努力すればそれなりに向上するだろうと思う。私は何となく過ごしてしまうことが多かったのでそれほど上達させることができなかった。積極的に行事に参加したり、ホストファミリーやほかの留学生たちに話しかけたりするべきである。私のクラスは日本人がほとんどであったが、その中でも授業中積極的に発言する人がいて彼らに刺激を受けた。5週間という短い期間でどれだけ充実した日々を過ごせるか旅行の計画を立てたが帰り際になっていつてみたいところが出てくるなど調査の甘さを痛感した。

一人カフェやバスで行けるところまで行ってみるなど日本ではしないことに挑戦してみても精神的にも強くなったと思う。Wi-Fiがないと私はスマホが使えなかったので道に迷ってしまったときはかなり不安になったがその時に周りの人にたくさん助けてもらい人のやさしさに触れそれもまたいい経験だったと強く思う。

同じプログラムへ参加を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関する事など自由に記載してください）

5週間は本当にあっという間です。慣れるまでの一週間は少しゆっくりと時が流れるように感じるかもしれませんが2週間過ぎてからはもう飛ぶように過ぎていきました。大学側はいろんなイベントをしてくれていると思うのでよく調べて積極的に、早いうちから参加するのがいいと思います。受け身だと得られることは非常に少ないと思います。イベントに参加したら自分から人に話しかけられるようにできるといいかなと思います。イベントじゃなくてもホストファミリーにもたくさん話しかけるべきです。

留学を通しての感想

今回の留学は行きはストームで二晩ほど途中のアムステルダム空港で過ごし、リーズ到着も真夜中になるなどハプニングがありましたが貴重な経験ができたと感じています。遠くて気軽には行けないだろうという理由が多くを占める形でイギリス留学に決めたのですが、行く前からアフタヌーンティーやおしゃれな街並みなどがとても楽しみでした。実際は思い描く景色そのままで感動しました。ご飯は友達からいうほどまずくないよ、おいしいよと聞いており、その通りだと思いました。外食よりは私はホストファミリーが作ってくれる料理がおいしかったです。外食ではイギリス伝統の料理というよりはタイ料理や中華料理を食べる機会が多かったです。好んでそういったお店に入っていたのですが、日本のお店との違いを知ることができたので挑戦できてよかったと思います。日本人にとっては質素な味付けに感じるかもしれませんが。アフタヌーンティーは低価格から高級なものまであってどれもそれぞれの良さがあってとても楽しかったです。

今回は多くの貴重な経験ができました。金銭面や生活面、様々なところで下さった親や先生、担当者の方々に感謝します。

